
を破壊するもの -All Uninstallation Haruka's Legend-

砂の国から来たギャラリオン

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

全てを破壊するもの - A11 Uninstallation

Haruka-s Legend -

【ZIPコード】

N3954O

【作者名】

砂の国から来たギャラリオン

【あらすじ】

AUH-SLAUH-SLAUH-SLAUH-SLAUH-S
LAUH-SLAUH-SLAUH-SLAUH-SLAUH-S
LAUH-SLAUH-SLAUH-SL

AUH - S L - ? Hロローグ（前書き）

オレは「」から生まれたのか・・・。

それとも「」の世界は

オレが生まれたからあるのか

どちらが先なのか・・・

それはきっと

オレ。

A U H - S L - ?
エロローグ

エラー

- ?

ファイルの場所が見つかりません

「あ、ベ

パソコンの横の壁を足で猛烈に蹴る。

デュクシツ！

「くそつ、いい加減死ねよ……！」

このHマーを見るのも何回田だりつ。

蛇苦魅はため息を付いた。

「はあ……。」

思つた以上に大きな音が出た。

その音は鱗の部屋まで余裕で『届いているはずだ。

「またヤツらがやつてくる……。」

蛇苦魅は怪物の乗り込みを防^{ヤツ}ぐつと、近くにあつたダンボール箱を持ち部屋のドアへ向かおつと…

ギャルルリオギヤーッッスッ！…………！…………！

「くあ～せ～れ～れ～ふじ～」――???

ヤツは、蛇苦魅が部屋のドアの前に置^{ヤツ}くとしていたダンボールを蹴り死なす。

そして蛇苦魅の前へどすやまどすやまと歩いてくる。

「やつ、やめろやオツー。」

蛇苦魅は必死に拒否する。

「あつ、違うんだ！あ、これはアレだうん！最近壁を蹴るスポーツが流行つててやー。試しにやつてみたんだよー。ドゥフ」

そしてこの言い訳である。

「ア？ウツセヒ。シネ。」

その言葉には「テンジヤラスな魔力」が込められていたように感じた。

怖氣付かないよう、蛇苦魅は切り出す。

「てつ、てか！お前だろ！『○○』アンインストールしたのは！」

そう。

先程のエラーメッセージ。

蛇苦魅がやつっていた「『○○』」といつ作業ゲーを起動しようとしたときに出現したエラー。

「〇一〇はアンインストール、つまりファイル全部削除されていたのだ。

「どう考へてもお前だらう！壁蹴つたのは置いとこでビリとかじりよー〇一〇は俺の精子みたいなもんなんだよオツ！」

眞葉のとおり蛇苦魅は〇一〇に、一日二時間プレイするほど熱中していたのだ。

だから〇一〇、自分でゲームファイルを削除 したりするはずがない。アリエナイ。

「てめえ今まで15521回も俺のゲームや画像やウマノ画像削除してきたじゃねーか！まるでエンドレスヒートだぜヒヤッハー！」

「！！！犯人はお前しかいねえよー！」

そう。

今までヤツは、蛇苦魅のパソコン内の極秘（笑）データを次々とアソインして来た。

その度に力で負け、なかつた事にされるのは蛇苦魅だった。

「今日のJNは詰めねえ...!」

蛇苦魅はファイチンチンチングポーズをとる。

「うそであります！」

俺の全力全開魔法！

ゲロリオン！」

「フッ、キカナイ」

「なつ、なんだと……！？」

「フフフフフフ」

「つーか謝れよ！ハルカ！お前なんだろ、アンインしたの！」

「テ？」

「ゆつてー乙」

本編に続く

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3954o/>

全てを破壊するもの -All Uninstallation Haruka's Legend-
2010年10月20日11時35分発行